

通級指導学級用

関 連 資 料

1 通級指導学級の教育目標

- ・聴覚に障害のある児童が、生活及び学習上の問題を主体的に改善するために必要な知識、技能、態度及びコミュニケーション能力を育てる。
- ・聴覚の障害が児童のもてる資質として受容され、二次的問題を起こさないように環境調整を含めた指導を行う。

2 教育目標を達成するための基本方針

- ・聴覚の特性や程度、言語力、情緒など、児童の全体的な発達を適切に理解して指導する。
- ・一人一人の児童の学習や生活における実態を把握して、個別指導計画を作成し、ケース会議によりその指導内容を適宜検討する。
- ・在籍校との情報交換を密に行い、連携を深め、指導内容の共通理解を図る。
- ・保護者と個別に面談を行い、家庭の協力を得て指導内容の共通理解を図る。
- ・医学、心理学、教育学の最新情報を得るとともに専門家の指導助言を求め、的確な教育的診断を行い、指導の効果を高める。
- ・個別指導を主とし、必要に応じて少人数指導も行う。

3 指導の重点

- ・聴覚を活用する学習を通して、聴く力と言語力を伸ばす。
- ・コミュニケーション能力を育てる。・言語発達の基礎となる情緒の安定に配慮した指導を行う。
- ・定期的に聴力検査を行い、聴力や補聴器の管理をしながら、残存聴力を十分に活用できるようにする。

4 その他の配慮事項

- ・在籍校、関係機関との情報交換を行い、相互の指導内容の理解を深め合う。
- ・通級途上の安全と指導内容の共通理解を図るため、保護者による児童の付き添いを原則とする。

5 編 制

(1) 通級指導学級数 (1) (2) 担当教員数 (1)

(3) 児童・生徒数

学年 男女別		小 学 校						計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
小 計	男	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	1	0	0	0	0	1
合 計		0	1	0	1	0	0	2

※週1日未満の児童数・生徒数は、()内に内数として記入する。

6 障害の状況

(1) 難 聴 (人数を記入)

聴力の程度(dB)	50未満	50以上60未満	60以上70未満	70以上100未満	100以上	測定不能
人 数	1				1	

(2) 障害の状況

言語障害

主障害	人数
構音障害	
言語発達の遅れ	
吃音	
口蓋裂	

7 月及び週当たりの通級日数と授業時数

(1) 週1日以上を通級 (人数を記入)

	週1時間	週2時間	週3時間	週4時間	週5時間	週6時間	週7時間	週8時間	週9時間以上	計
週1日		2								2
週2日										
週3日										
計	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2

(2) 週1日未満を通級 (人数を記入)

	月1時間	月2時間	月3時間	月4時間	月5時間	月6時間	月7時間	月8時間	月9時間以上	計
月1日										0
月2日										
月3日										
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8 週当たりの授業時数配当表

数 指 導 時	学年	4	2																	
	児童・生徒	A	B																	
	性別	男	女																	
	校内・校外	校外	校外																	
指導時数の合計		2	2																	
備 考																				